

令和4年度第15回士別市教育委員会会議録

1. 日 時 令和5年3月2日（木）午後1時50分～午後3時00分
2. 会 場 教育委員会会議室
3. 出席者 教育長 中 峰 寿 彰 生涯学習部長 三 上 正 洋
職務代理者 馬 場 千 晶 学校教育課長 須 藤 友 章
委 員 加 藤 洋 之 合宿の里・スポーツ推進課長
委 員 山 田 敦 久 坂 本 英 樹
委 員 多 田 千 鶴 社会教育課長 武 山 鉄 也

4. 議 件（発言者、議事要旨及び議決事項）

1 教育長挨拶

気温の上昇による雪解け水で道路がびしゃびしゃになっており、少々汚なく、わずらわしい一方で、春が確実に近づいていると感じる。

卒業、旅立ちの時期を迎え、昨日は東高校と翔雲高校で卒業式が行われた。東高校では入学した全員ということにはならなかったが9人が晴れて卒業した。進学3名、就職5名がそれぞれの道を歩んでいく。進路検討中の1人についても、学校では引き続きサポートしていく。3月10日には中学校の卒業式、17日と20日には小学校の卒業式が挙行されるが、17日は市議会定例会の最終日にあたり、私が出られないため、委員の皆さんに対応をお願いします。

本日は、公立高校の入学者選抜試験が行われており、明日は面接が予定されている。この4月からは、名寄高校と名寄産業高校が統合再編され、1学級削減となった新しい名寄高校が開校する。今のところ翔雲高校は学級数削減の対象となっておらず安堵しているが、今後、上川北学区の高校配置計画の見直しのなかでどうなるかわからない状況。間口の維持は、学校や行政だけの問題ではなく、商工会議所なども深く関わるのが、今まで以上に求められている。単に学力レベル的評価のみで市外高校への進学を勧めるような風潮が今もあるようだが、それもいかなものかと思うところ。一方で、工業や料理など専門分野に特化した学科を生徒が希望する場合もあり、将来を見据えた進路選択が大切と考える。一方、東高校の入学希望者は9人で、1桁ではあるものの、本校の1学級として成り立つとともに、ほぼ適した人数である。残念ながら進級できない生徒もいるが、様々な生徒たちに対して、引き続き学びの場を提供していく。

2月26日から3日間、合宿招致活動のため、京都、大阪、愛知に出張してきた。野口みずき選手を指導した藤田信之氏とは3年ぶりに対面で話をする機会を得たところであり、今後も本市ハーフマラソン大会等での来市のほか、指導者としての来市など、本市合宿の里づくりへの支援などをお願いしてきた。このほか、愛知製鋼やシスメックスなどを訪問し、ダイハツ本社には合宿や「ものづくり体験教室」開催等のお礼に伺ってきた。

新聞等でも報道されたが、昨日、市の車両管理事務所で火災が発生し、職員1名がやけどを負った。今後、原因を究明し再発防止に努めていくことになっている。

来週から市議会第1回定例会大綱質疑が行われるが、第4回定例会では一般質問がなかった反動のよ

うに、6名の議員から質問通告があったところ。

教頭と一般教員の人事異動については、明日が内示日となる。市職員の異動内示は24日の予定である。士別ライオンズクラブから、学校給食の食材約50万円分と、図書館の蔵書など170万円以上の寄附をいただいた。

本日もよろしく願います。

2 議事について

○中峰教育長 進行

議案第42号 「令和5年度士別市学校教職員（教頭・一般教員等）の人事異動」について秘密会とする。

午後2時09分 秘密会を宣する。

午後2時23分 秘密会を解く。

3 その他

◇令和5年第1回定例会大綱質疑について

○三上部長

教育委員会関連では6名の議員から質問が通告されている。（別紙資料に基づき説明）

こののち、市長勉強会を行う。

○中峰教育長

チャレンジデーへの参加取り止めやオリンピックデーランの従来どおりの実施見直しに対して、具体的な代替事業の内容を構築してから方針を示すべきであり、事業廃止先行について異論ありとの質問も通告に含まれているが、事業再編の一つの手法として、スクラップアンドビルドの考え方から、これまでの事業を廃止してから新しい事業を立ち上げることも、現状では必要と考えているところ。

○馬場職務代理者

市議会議員にも、ぜひ様々な事業に参加いただき、その上でご意見をいただきたいと思う。

○山田委員

長く歴史を積み上げていくものと、スクラップアンドビルドしていくものなど、その事業の目的や実績に応じて検討しなければならない。全て一緒にしてしまうと話が噛み合わなくなる。

○中峰教育長

本市はJOCパートナー都市でもあり、オリンピックムーブメント事業に関わってはJOCとの関係性を壊すことのないように事業を再編していく考えである。

◇当面する今後の日程について

三上部長説明。

○中峰教育長

翔雲高校の卒業式は、マスクの着用率が高かったと聞いた。新年度からの学校におけるマスク着用の考え方については、別途通知されることになっているが、どのような取扱になるかなど、事前の情報は入っていないところ。

○加藤委員

高校生は、まだ、先の進路に向けての試験等が終わっていない生徒もいるため、マスクを外すことに高いリスクを感じているケースもあったと思う。

○中峰教育長

一方で、季節性インフルエンザの流行も心配である。

○加藤委員

マスクを外すことについて、特に女子は別の意味での抵抗感があるなどのなか、特に慎重だと感じた。

○中峰教育長

5月8日から、感染症法の位置づけが2類から5類に引き下げられるところであり、その後の対応についての検討が必要になる。

○加藤委員

士別小学校のバス停留所周辺で、バスを待っている児童が、多くの雪が積もった民家屋根の軒下で遊んだり、雪山の上を歩いたりしているのを目にした。危険であり注意が必要と思う。

○中峰教育長

早速、明日の校長会で注意喚起し、登下校時の安全確保に努めるよう指示する。

午後3時00分 会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署名者 中峰 寿彰

会議録調整者 須藤 友章